

防犯啓発事業

[583]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0101	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	防犯意識の高揚	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 防犯教室等の開催 ・幼児対象: 保育園、児童館で実施する交通安全教室と併せて実施。 ・小学生対象: 新1年生を対象に連れ去り防止教室を実施(市内全9校)。 ・高齢者対象: 交通安全教室と併せて実施。 防犯キャンペーンの開催 ・街頭キャンペーン(駅周辺等)を市・警察署が共同実施。 ・市民祭、健康フェスタで「防犯コーナー」を設置し、防犯啓発を行う。 ・広報等による防犯意識の啓発(車上・住宅侵入盗など) ・市内商業施設において防犯啓発店内アナウンスの協力依頼 安全安心メール配信による情報の共有化。 尾張旭市地域安全推進協議会に負担金を支払い、協議会と共に防犯啓発事業を実施。(防犯講話、防犯教室)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	・多くの市民が防犯教室・キャンペーンに参加し、防犯意識が高まっている。 ・防犯意識が高まり、防犯対策を実践している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 防犯教室、キャンペーン等の開催回数	回	63	42	45	38
	B					
成果指標	C 防犯教室、キャンペーン等の参加(啓発)人数	人	2,314	7,325	4,300	4,278
	D					
事業費 計			514	516	517	515
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	514	516	517

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 昨年度実績と比較して延べ3,000人程度減少した。 (原因) 夏の安全なまちづくり県民運動の実施時期が8月(夏休み期間中)になったことにより、全校区で夏の防犯パトロールが実施できなかったことにより活動人数が大幅に減少した。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

地域防犯パトロール支援事業

[585]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0201	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	地域ぐるみでの防犯体制の充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(地域住民) 自治会、町内会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会等を対象に、防犯パトロールの実施を促す。 実施団体に対しては、必要な物品等(反射材付ベスト、腕章、青色警告棒など)を提供する。 防犯パトロール隊連絡会を開催(6月・11月)し、各部隊の活動内容を共有するなど連絡会の充実を図る。 青色パトロール隊出発式(8月1日)、年末特別警戒出発式(12月1日)に併せ、警察署と防犯啓発活動を実施する。 青色パトロール活動費に対し補助金を交付。(尾張旭市地域防犯パトロール活動費補助金交付要綱)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

自治会、町内会に対して防犯パトロールの実施を促すことで、犯罪が抑止されるとともに、地域住民の防犯に対する意識が高揚している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 防犯パトロール隊活動数	件	60	65	60	59
	B パトロール隊に交付した補助金額	円	330,000	340,000	380,000	350,000
成果指標	C 防犯パトロール活動日数	日	1,746	1,776	2,170	1,807
	D					
事業費 計			543	421	631	590
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	543	421	631

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 昨年度実績と比べて延べパトロール隊が活動数が6件減少し、活動日数は31日増加した。 (原因) 各パトロール隊の高齢化に伴い、パトロール隊の活動数は少なくなってきているが、特殊詐欺事件の増加等、全国的に防犯意識は高まってきており、市内の各地域においても積極的なパトロール活動が実施できている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

青少年街頭相談事業

[589]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0301	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学生以上の未成年者、青少年、その親・保護者、一般成人の市民	少年センターの主任育成員1人、校区育成員(中学校区各1人、計3人)、街頭相談員3人が市内を日常的、或いは定期的(月~金9:00~16:30、土13:00~20:15)に巡回し、登下校中の児童・生徒の見守り、不審者情報に基づく巡回、自転車危険運転や公園等に集まっている青少年に声をかける。 また、地域協力員(各種団体の構成員や役員によって形成されている「尾張旭市青少年健全育成推進会議」の委員全員を市長が委嘱)と、連携し青少年への声をかける。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
少年センター職員及び地域協力員が連携し、青少年へ声かけ等を行い、青少年の非行防止と健全育成を推進し、街頭相談件数が減少している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 街頭相談実施回数(回数)	日	285	282	290	290
	B 非行防止パトロールの実施回数	回	0	20	16	24
成果指標	C 少年センターによる街頭相談件数(延人数)	人	230	147	200	149
	D					
事業費 計			582	518	731	652
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	582	518	731

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標「少年センターによる街頭相談件数」の実績は、R3に比べR4は2件増加している。 (原因) R4も前年に続いて新型コロナウイルス感染症対策やタブレット端末による授業などの社会的な要因が影響として挙げられるが、実績値が横ばいとなっている理由として、コロナ禍での生活様式が浸透しているのではないかと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

青少年悩みごと相談事業

[590]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0302	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学生以上の未成年者、青少年、その親・保護者、一般成人の市民	少年センター電話相談員3人が、困ったこと、いじめ、学校や家庭での悩みや不安に関する相談に応じ、相談者に助言や支援を行う。 相談日 月～金 9:00～17:00 第2・第4土曜日 9:00～16:30(祝日は除く。)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【参考】 少年センター街頭相談員3人は、市内を日常的(月～金 9:00～16:30 土曜日 13:00～20:15)に巡回し、登下校中の児童・生徒の見守り、不審者情報に基づき巡回、自転車危険運転している青少年に声をかけをするともに、必要に応じて小中学校等の関係機関と連携し、解決に向けた情報共有を行う。
	悩みや不安を抱える青少年やその保護者の相談に応じることで、相談者の悩みが緩和、解決されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 相談件数	件	155	321	180	233
	B					
成果指標	C 相談事業に対する満足度	%	85	79	80	48
	D					
事業費 計			120	362	392	369
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		120	362	392

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標「相談事業に対する満足度」の実績は、近年よりも大幅に減少し、約5割の数値となっている。 (原因) 相談員の入れ替えや対応方法の変更はしていないため、相談者の特性によるものが主な要因であると考えられる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	困難を抱える子ども・若者とその家族を支援する相談・支援体制づくりを行います。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
令和3年度の政策課長会議を経て、暮らし政策課が主導する少年センターの今後のあり方について検討を行い、市民生活部としての考えをまとめた。			

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0303	実施計画
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学生以上の未成年者、青少年、その親・保護者、一般成人の市民 青少年健全育成推進会議(市民団体)	青少年の健全育成活動を行う市民団体と市が連携してあいさつ運動、非行防止パトロール・キャンペーン、推進大会などを実施し、青少年健全育成の重要性を市民に訴える。また、各種事業の折に啓発資材を配布し、あわせて市民意識の向上を図る。 また、青少年健全育成推進会議では平成22年度から「中学生サマーフェスティバル」を開催。平成28年度から令和4年度までは「中学生フェスティバル」を開催し、中学生同士や地域住民との交流の場として事業を展開してきており、令和5年度では対象者を小中高生に広げてダンスフェスティバルを計画している。 尾張旭市青少年健全育成推進会議) 構成員 426人(令和5年3月31日現在) 支部 3支部(旭中校区・東中校区・西中校区) 事業 <ul style="list-style-type: none"> ・非行防止パトロール ・非行防止キャンペーン ・青少年健全育成推進大会 ・各小中学校でのあいさつ運動
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	あいさつ運動や非行防止キャンペーンなど継続した啓発活動により、青少年の健全育成、非行防止に関する環境が醸成され、地域が一体となって取り組むという市民の意識が向上している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 非行防止パトロールなどの実施回数	回	0	20	16	24
	B 啓発資材の数量	個	0	2,040	3,000	3,100
成果指標	C 青少年健全育成に地域の取り組みが必要と思う市民の割合	%	91	89	90	-
	D					
事業費 計			1,254	1,000	1,077	1,052
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	1,254	1,000	1,077	1,052

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 成果指標「青少年健全育成に地域の取り組みが必要と思う市民の割合」の実績値については、R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得。
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

防犯灯設置・維持管理補助事業

[594]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0401	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	防犯施設の整備充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(地域住民) 自治会、町内会	自治会、町内会の行う防犯灯の設置、器具取替費用の一部(定額・約1/2)を補助。 ・申請時期:随時 自治会、町内会が管理する防犯灯の維持管理費用の一部(電気代)を補助。 ・8/1現在の灯数に対し1,900円/灯。申請時期:8月下旬 維持管理補助額を改定。 ・R2年度 2,100円 1,900円 防犯灯数5,759灯 うちLED 4,476灯(LED普及率77.7%) R3.3末
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・自治会、町内会に対して補助金を交付することで、防犯灯の設置が促進され、危険箇所(暗がり)が減少している。
 ・犯罪の防止が図られ、住民の安心感が増している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 新設防犯灯の基数	基	102	147	80	43	
	B 防犯灯維持管理基数	基	5,759	5,904	5,840	5,933	
	成果指標	C 防犯灯・街路灯の満足度	%		71.7	70	-
		D 夜間、家の周りを明るくしている市民割合	%		11.5	60	-
事業費 計			19,662	20,245	19,835	14,368	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	19,662	20,245	19,835	14,368

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得
--------	---	--------------------------------

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	引き続き、LED化が進んでいない地区に対するLED化推進の啓発を進めます。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

LED化の啓発を積極的に行ったことにより、LED化率は84%から88%と順調に伸びている。
 引き続き、自治会や町内会に働きかけ、LED化率100%を目指す。

防犯カメラ設置事業

[1272]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0403	実施計画
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	防犯施設の整備充実	担当	市民生活部 市民活動課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 自治会、町内会	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯のために防犯カメラを設置する公共的団体(自治会、町内会)に対し、その設置費用を補助することにより、安全安心なまちづくりを推進し、犯罪が起きない生活環境づくりを図る。 ・「尾張旭市公共的団体による防犯カメラの設置事業補助金要綱」(平成30年4月1日施行) ・補助額については、対象となる経費の2分の1以内(上限15万円/1台) ・当該年度の予算範囲内。 ・「過去実績」 <ul style="list-style-type: none"> 27年度 7台：市補助4台、県事業1台、ライオンズクラブ寄付2台 28年度 8台：市補助5台、ライオンズクラブ寄付3台 29年度 3台：市補助3台 30年度 5台：市補助5台 R1年度 3台：市補助3台 R2年度 16台：市補助9台、愛知県遊技協同組合寄付7台 ・犯罪抑止を目的とした「設置推進地区」を示す警告看板の設置
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の防止が図られ、住民の安心感が増している。 ・犯罪防止のため、自治会、町内会など防犯カメラを設置する公共的団体へ補助を交付することで、防犯カメラの設置が促進され、犯罪発生が減少している。 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 新設防犯カメラの基数	基	16	6	10	9
	B 防犯カメラの基数(累計)	基	45	51	55	60
成果指標	C 治安に対する安心感	%		87.5	80	-
	D					
事業費 計			1,373	530	1,500	622
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,373	530	1,500

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)防犯カメラはの新規設置9基と着実に増えている。 (原因)特殊詐欺事件が身近なものになってきており、防犯パトロール活動や防犯カメラの設置など安全安心なまちづくりに対する地域市民の意識の高まりが要因と考えられる。
--------	---	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	防犯カメラを設置する公共的団体への維持管理補助金について、他市町の状況調査を行います。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
他市町の状況や防犯カメラの設置状況の調査及び中部電力ミライズとの打ち合わせにより、維持管理費補助を検討するにあたり、配電盤の分岐等の課題があることが分かったため、次年度も引き続き調査・検討を続ける。			

交通防犯庶務事務

[974]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	99-0303	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	係の庶務事務 係職員	庁外文書の收受 庁内通知、報告文書処理 財務会計事務 交通防犯係の予算決算に関する事務 交通防犯関係事業の行政評価・人事考課制度に関する事務 嘱託職員の管理 出張命令書の処理 係の備品、消耗品の調達、管理 【1,898時間(:1人工)×0.3人工(交通防犯係庶務事務) 567時間】
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

- ・係の庶務事務が正確かつ円滑に進んでいる。
- ・事務の改善により、庶務事務所要時間が削減されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般					

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

少年センター庶務事務

[978]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	99-0304	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	少年センターの職員 少年センターの庶務事務	<ul style="list-style-type: none"> ・庁外文書の收受 ・庁内通知、報告文書処理 ・少年センターの予算・決算に関する事務 ・少年センターの行政評価・人事考課制度に関する事務 ・会計年度任用職員の勤務表調整事務 ・少年センターの備品、消耗品の調達、管理 ・青少年健全育成推進会議の事務局運営
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・少年センターの庶務事務が正確かつ円滑に進んでいる。
・事務改善により、庶務事務所要時間が削減されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A	時間					
	B						
成果指標	C	件					
	D	時間					
事業費 計		千円	41	46	54	38	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	41	46	54	38	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定